作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	弥田　俊男
所属機関名	工学部建築学科
職位	准教授
在籍年	１３年

教育の責任

建築学科に所属し、建築設計を専門としている。建築の設計に関する専門科目である設計演習の全科目や、設計方法論、近代建築史、都市計画特論を担当しており、ゼミ学生の指導として、卒業設計などの研究支援を行っている。建築学科学生の意欲や能力を主体的に向上する機会創出を目的とし、ゲストの建築家を招いた特別講演会と学年を縦断する合同講評会を企画開催するなどの取り組みを実施している。

教育の理念

先ず学生の教育に携わる者として、自分自身を常に最新状態にアップデートし、最前線の建築教育を提供することを心掛けている。学生の中に存在する可能性の「種」を最高の姿に育てること、同時に学生に可能性の「種」を植え付けることを心掛けている。自分自身が、建築という学問・実務・文化の本当の在り方や魅力などを、学生が目にできる「窓」となり、学生が踏み出していく「扉」となり、学生が社会で歩みを進めていく「道標」となることを心掛けている。学生にとって建築が生涯のライフワークとなるよう魅力を感じ取ってもらうことを目指す。

教育の方法・方針

理念を実現するために、以下の方法・方針を実施している。

・直観的に関心を誘発し主体的な理解と探求を深めるために、魅力的なビジュアルを多用する。

・学生の発想を否定せず、そこからどのように設計案を成長させ進化させられるかの可能性を実感させるように意見交換や指導を行う。

・常に実社会における最先端の情報を反映させ、教育の内容や構成をアップデートする。

・実際の建築や都市空間や地域活動を見学し体感し考えさせる機会を用意する。

教育の成果

学生の最終成果物である卒業設計においては、中国地方や全国における学外の場においても、優秀な成績をおさめており、学生の能力は確実に向上している。進路においても、日本を代表する建築家の設計事務所や大手設計事務所やゼネコンへの就職や、本学に加え他大学の大学院への進学など、卒業後の活躍が広がっている。学生の主体的な活動も益々盛んになっている。

今後の目標

これまでの成果をさらに発展させるためにも、先ず学生の基礎力を確実に高める、その上でさらなる学生の主体性、学生の学内外での活動の積極性をさらに高めていくための機会創出やサポートを改善しながら継続していく。

根拠資料

授業アンケート、講義時の提出レポートの回答内容、学外における卒業設計コンクール成績、学生主体の活動内容